

令和3年度「健康しが」ツーリズムビジョンアクションプラン

1 滋賀県観光の現状

滋賀県における観光振興の基本的な考え方を定めた「『健康しが』ツーリズムビジョン 2022」（以下、「ビジョン」と言う。）に基づき、観光入込客数 6,000 万人を達成することを目標に観光施策を積極的に展開してきたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大以降、国内の旅行控えや訪日外国人の減少等の影響を受けて、令和 2 年の本県延観光入込客数（速報値）が 3,643 万人（対前年比△32.6%）と大幅な減少となり、県内観光関連産業は非常に厳しい状況となっている。

①滋賀県 観光入込客数等の推移

（万人・億円）

項目	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 2－令和元
延観光入込客数	5,077	5,248	5,254	5,404	3,643	△1,761(△32.6%)
延宿泊者数	378	387	399	408	242	△ 166(△40.8%)
観光消費額	1,735	1,793	1,972	2,035	1,328	△ 707(△34.7%)

②滋賀県 外国人観光入込客数等の推移

（万人）

項目	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 2－令和元
外国人延観光入込客数	55	54	60	67	12	△55(△81.9%)
外国人延宿泊者数	40	34	35	34	4	△30(△87.2%)

2 令和3年度における観光施策の展開

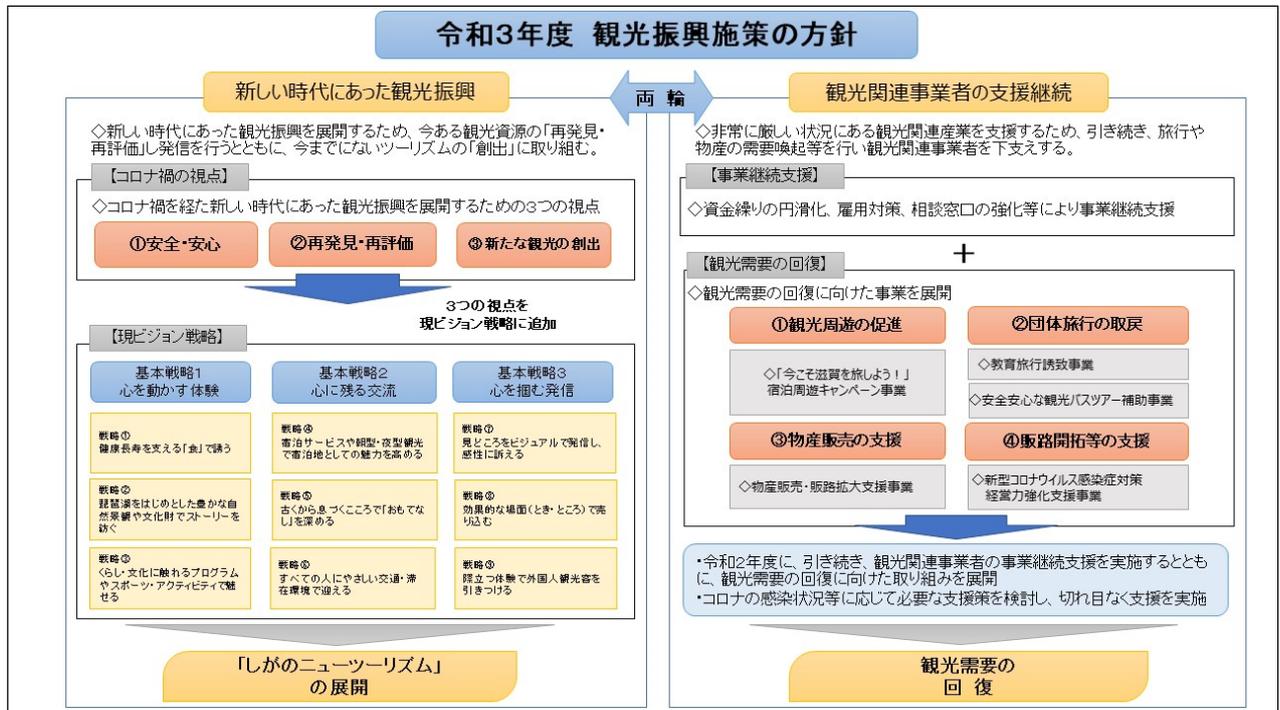
(1)基本的な考え方

新型コロナ感染拡大の長期化により観光関連事業者が非常に厳しい状況であることから、事業者に寄り添った事業継続支援を行うとともに、コロナの感染状況を見極めながら旅行や物産等における需要喚起の取組を実施することにより、観光需要の回復に結びつける。また、今回のコロナ禍を受けて、観光を取り巻く環境が大きく変化したことから、本県の適度な疎や豊かな自然、豊富な歴史や文化をはじめとする観光資源を改めて「再発見・再評価」し発信するとともに、ワーケーション等の今までにないツーリズムの「創出」に取り組むことにより「新しい時代にあった観光振興」を展開し、新しい時代に選ばれる滋賀を目指す。

(2)観光振興施策の方針

ビジョンの 3 つの基本戦略および 9 つの戦略に基づき観光施策を効果的に実施するため、毎年度アクションプランを策定しているが、コロナ禍を受け「新しい時代にあった観光振興」を展開していくために、令和 3 年度においては「①安全安心」、「②再発見・再評価」、「③新たな観光の創出」の 3 つの視点を加えながら各事業を実施する。

また、併せて資金繰りの円滑化、雇用対策、相談窓口の強化等により事業継続支援を行うとともに、観光需要の回復に向けて「①観光周遊の促進」、「②団体旅行の取戻」、「③物産販売の支援」、「④販路開拓等の支援」の事業を実施することにより、観光関連事業者を下支えする。



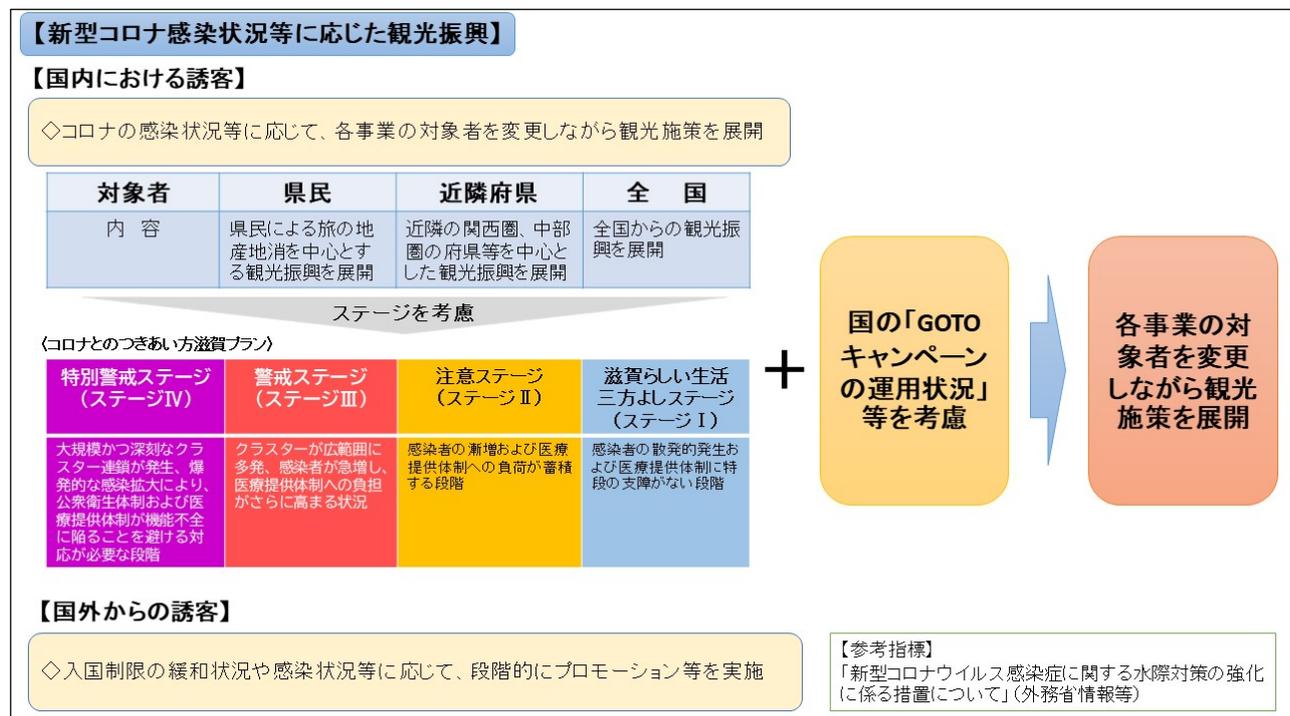
(3) 新型コロナウイルス感染状況等に応じた観光振興

新型コロナウイルス感染状況は日々変化することから、当面は感染状況に応じた観光振興を実施することが必要となっている。

そのため、国内における誘客については、滋賀県新型コロナウイルス感染症対策本部の「コロナとのつきあい方滋賀プラン」のステージ判断を基本とし、国の「Go To キャンペーン事業」の運用状況等も考慮しながら、各事業における対象者を「県民」、「近隣府県」、「全国」など、感染状況に応じて変更しながら観光施策を展開する。

また、国外からの誘客については、訪日外客数が大幅に減少している状況が続いており、今後の動向も国レベルの判断や取組に依る側面が大きいが、入国制限の緩和後、円滑に外国人観光客を誘客するため、入国制限の緩和や感染状況等に応じて段階的にプロモーションを実施するなど、インバウンドの回復に向けてしっかり準備していくことが必要である。

(例) 入国制限時では「旅前」の外国人観光客に対する魅力発信等の実施
緩和後は「旅中」の外国人観光客に対するプロモーション等の展開



(4)令和3年度の目標値について

新型コロナ感染拡大の影響により当面は観光入込客数の大幅な回復が見通せない状況であることから、ビジョンの成果指標(2022年)を達成することが困難な見通しであり、毎年度のアクションプランの目標値を設定することも難しい状況となっている。

このような中では、観光振興を実施できるタイミングとなった際に、全国に先駆けて観光需要の回復に関する取組を迅速に実施し、コロナ禍においても滋賀県が観光地として選ばれることが重要である。

そのため、令和3年度においては、ビジョンの成果指標に基づく目標値を設定するのではなく、コロナ感染状況を見極めて、迅速かつ柔軟に観光需要の回復への取組を迅速に実施するため、「観光需要の回復が全国平均を上回る」ことを目標とする。

【令和3年度の目標】

観光需要の回復が全国平均を上回る

(※指標:観光庁「宿泊旅行統計調査 都道府県別延べ宿泊者数」)

【参 考】

「2022年(令和4年)における成果指標」

- ・延べ観光入込客数 6000万人
- ・延べ宿泊客数 450万人
- ・観光消費額 2000億円

(5)「しがCO2 ネットゼロ」ムーブメントについて

本県において、国内外の動きと強調し、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目指し、県民、事業者等多様な主体と連携して取り組む「しがCO2 ネットゼロ」ムーブメント」キックオフ宣言を行った。

滋賀の観光産業として、全世界で取り組むSDGsの達成に貢献することが重要であることから、ビジョンの基本方針「観光を架け橋に、つなぐ滋賀、つづく滋賀」に基づき、CO2排出量の実質ゼロを目指し、多様な主体と連携して観光振興を展開していくこととする。

(6)ビジョンの改定について

ビジョンは2022年度(令和4年度)までが計画期間となっているが、変化する観光客のニーズやコロナ収束後を見越した観光振興のあり方について、迅速かつ柔軟に検討することが必要であることから、令和2年12月21日開催の滋賀県観光事業審議会に、ビジョン改定の1年前倒しについて諮問を行い、改定作業を開始した。

3 ビジョンが定める3の基本戦略および9の戦略に基づく主な事業



基本戦略1 心を動かす体験

～「健康しが」ならではの観光素材(モノ・コト)を磨く～

戦略① 健康長寿を支える「食」で誘う(いざなう)

事業名	事業概要	予算額 (千円)	主な観光 振興効果
近江の地酒文化 普及事業	近江の地酒の魅力を県内外に発信するとともに、首都圏でのイベント開催や新たなファン獲得の取組等を行うことで、近江の地酒への愛着や誇りを醸成し、誘客促進や関係人口の創出、地域活性化につなげていく。	4,000	②観光消費の活性化
「世界農業遺産」 プロジェクト推進 事業	琵琶湖と共生する「滋賀の農林水産業」について、「世界農業遺産 (GIAHS)」の認定に向けた取組を推進し、強い農林水産業づくり、地域活性化の契機とする。この取組のプロセスを通じて、県産物の高付加価値化や観光資源としての活用等につなげ、滋賀の農林水産業を健全な姿で次世代に引き継ぐ。	8,243	②観光消費の活性化
食べて健康「滋賀 の野菜」消費拡大 事業	民間事業者や大学等との連携により、「健康」をテーマに県産野菜等の新しい食べ方や魅力を発信することで、日常生活により近い場面で消費者とのコミュニケーションを強化し、県産野菜等の消費拡大を図る。	5,980	②観光消費の活性化

戦略② 琵琶湖をはじめとした豊かな自然景観や文化財でストーリーを紡ぐ

事業名	事業概要	予算額 (千円)	主な観光 振興効果
「滋賀の魅力」観 光PR推進事業	万葉・平安から戦国を経て、幕末・近代へ紡いできた多くの滋賀ゆかりの歴史遺産を改めて観光素材として「再発見・再評価」し、密にならない本県の特性とあわせて、その魅力を発信することで、県内周遊・宿泊型観光の推進を図る。	83,000	①宿泊客数の増加
日本遺産・琵琶湖 魅力発信事業	日本遺産「琵琶湖とその水辺景観－祈りと暮らしの水遺産」を中心とする県内の日本遺産を核とした周遊促進事業を実施するとともに、地元が行う受け入れ環境の充実を支援することで地域の活性化を図る。	4,100	⑤観光入込客の増加
「びわ湖の日」 活動推進事業	「びわ湖の日」40周年を契機に、森・川・里・湖が織りなす多様な価値や「びわ活」を発信しながら、これまでの取組を振り返り、今を見つめなおし、これからを考え、行動するきっかけづくりを進める。	8,354	⑤観光入込客の増加

戦略③ 暮らし・文化に触れるプログラムやスポーツ・アクティビティで魅せる

事業名	事業概要	予算額 (千円)	主な観光 振興効果
ビワイチ観光推進事業	「ビワイチ」を安心・安全に、多様な人々が楽しめるコンテンツとして確立させるとともに、琵琶湖を中心に県内全体に広がる多様な資源を活かして県内全域への自転車による周遊観光を推進することを通じて、国内外からの来訪促進をはかり、地域活性化へつなげる。	31,108	②観光消費の活性化
ビワイチレンタサイクル助成事業	スポーツタイプの自転車を利用する場合のレンタル料金に対して補助し、「ビワイチ」や「ビワイチ・プラス」の体験機会の拡大を図り、県内の観光需要の回復に寄与する。	12,833	②観光消費の活性化
農山村ニューツーリズム推進事業	滋賀ならではの魅力を体感できる作業体験等を組み込んだ新たな体験型・滞在型旅行を企画・実施し、都市との交流促進や関係人口の創出・拡大により、農山村地域の活性化を図る。	3,500	⑤観光入込客の増加
琵琶湖博物館魅力創造発信事業	博物館のリニューアル効果を高めるため、情報を広く発信するとともに、シンポジウムや県民参加型交流会等の開催による誘客促進の取組を行う。	24,130	⑤観光入込客の増加

基本戦略1 関連事業総額: 631百万円

【主な事業目標】

- ・朝型、夜型、滞在型観光につながる地域観光プログラムの開発: 20件
- ・近江の地酒 ①「滋賀地酒 10000 人乾杯プロジェクト」参加人数: 10,000 人
②商談件数: 50 件
- ・日本遺産を巡るイベントでの周遊観光の創出: 95,000人
- ・サイクルツーリズムによる経済波及効果の対前年増加額: 4億円

(※事業総額は、他の戦略と重複する事業を除く額です)

基本戦略2 心に残る交流

～「おもてなし」で観光・三方よし(訪れてよし、迎えてよし、地域よし)を実現する～

戦略④ 宿泊サービスや朝型・夜型観光で宿泊地としての魅力を高める

事業名	事業概要	予算額 (千円)	主な観光 振興効果
ワーケーション推進事業	コロナ禍を踏まえた新しい観光の一つとしてワーケーションを推進し、観光三方よし(①宿泊事業者の平日を始めとする宿泊率向上、②企業の働き方改革やSDGs等の企業価値向上、③琵琶湖や森林の保護活動等への参加者確保)の実現を目指す。	11,600	①宿泊客数の増加
「今こそ滋賀を旅しよう！」宿泊周遊キャンペーン事業	宿泊施設で周遊クーポンを受け取り、その周遊クーポンによる地域観光関連施設への誘客を促進する宿泊周遊キャンペーンを実施し、宿泊観光・観光周遊を促進する。	408,488	②観光消費の活性化

安全安心な観光バスツアー補助事業	本県への更なる誘客促進を図るため、観光遊覧船等の観光周遊素材を組み込んだツアープランを造成する旅行事業者を助成することで県内観光関連産業への支援を図る。	273,000	②観光消費の活性化
観光イベント推進事業	観光客の積極的な誘致を図るため、観光誘客が見込める地域主催のイベントに対して助成する。	30,500	①宿泊客数の増加
「滋賀の魅力」観光PR推進事業	万葉・平安から戦国を経て、幕末・近代へ紡いできた多くの滋賀ゆかりの歴史遺産を改めて観光素材として「再発見・再評価」し、密にならない本県の特性とあわせて、その魅力を発信することで、県内周遊・宿泊型観光の推進を図る。	(再掲)	(再掲)

戦略⑤ 古くから息づくところで「おもてなし」を深める

事業名	事業概要	予算額 (千円)	主な観光振興効果
観光人材育成等地域支援事業	観光まちづくりをPDCAサイクルに基づき、戦略的に事業展開を行い牽引する人材を育成し、観光振興のレベルアップと地域の活性化を目指す。	10,600	④観光満足度の向上
「ウェルカム滋賀」推進事業	観光ボランティアガイドの活動により、来訪者を温かく迎える「おもてなし」の向上を図り、地域の活性化や観光振興につなげる。	250	④観光満足度の向上
スポーツボランティア支援事業	東京2020オリンピック聖火リレーやワールドマスターズゲームズ2021関西など大規模スポーツイベントの開催を視野に、スポーツボランティアを自立的に企画・運営する新たな団体の設立を支援するとともに、当該団体が実施するボランティアの募集や育成、活動機会の充実等の取組に対して補助する。	10,000	④観光満足度の向上

戦略⑥ すべての人にやさしい交通・滞在環境で迎える

事業名	事業概要	予算額 (千円)	主な観光振興効果
観光周遊機能構築事業	「まいばら駅広域観光交流圏コンソーシアム」の取組を支援し、米原駅を核とした観光二次交通の整備を促進することで、県東北部の観光周遊機能を強化し、観光誘客を図る。	7,000	④観光満足度の向上
県域無料Wi-Fi整備促進事業	国内外から滋賀への訪問者をはじめ、誰でも手軽に観光地などの訪問先でインターネットが利用できる無料Wi-Fi環境の一層の整備促進と利用方法などの利便性向上により、滋賀の「おもてなし」環境の充実を図る。	5,647	④観光満足度の向上
「ピワイチ」安全・安心な自転車利用促進事業	「ピワイチ」をはじめ自転車を安全・安心に利用できる環境の構築や事故防止に向けた安全指導の強化、総合的に自転車情報を発信する環境の整備を進めるとともに、路面表示、走行空間整備などを進める。	318,501	④観光満足度の向上

基本戦略2 関連事業総額: 1126 百万円

【主な事業目標】

- ・滋賀県でのワーケーション導入事業者数:4社
- ・県内の旅行需要創出:100,000人
- ・安全安心な観光バスツアー造成件数:730件
- ・新規交通手段の導入、既存交通の活用による MaaS の実証的導入
- ・「びわ湖 Free Wi-Fi」アクセスポイント設置:累計 1560 か所

(※事業総額は、他の戦略と重複する事業を除く額です)

基本戦略3 心を掴む発信

～「行きたい」を想起させるイメージを発信する～

戦略⑦ 見どころをビジュアルで発信し、感性に訴える

事業名	事業概要	予算額 (千円)	主な観光 振興効果
滋賀の戦略的県外PR事業	首都圏を中心とする県外や海外の方々に対して滋賀の魅力を広め、認知度や好感度を高めるため、本県の魅力的な素材や旬の話題を取り上げ、メディアへの掲載・露出の拡大につながる情報発信を行う。	20,292	⑤観光入込客の増加
映像誘致・ロケ支援事業	映画・テレビ等の映像を通じて本県の豊かな自然や歴史・文化遺産を広く発信することにより、本県のイメージアップと観光および地域の振興を図る。	3,646	⑤観光入込客の増加
「滋賀の魅力」観光PR推進事業	万葉・平安から戦国を経て、幕末・近代へ紡いできた多くの滋賀ゆかりの歴史遺産を改めて観光素材として「再発見・再評価」し、密にならない本県の特長とあわせて、その魅力を発信することで、県内周遊・宿泊型観光の推進を図る。	(再掲)	(再掲)

戦略⑧ 効果的な場面(とき・ところ)で売り込む

事業名	事業概要	予算額 (千円)	主な観光 振興効果
ここ滋賀推進事業	滋賀の魅力を実際に見て、触れて、食べることができる体験型の発信を行うとともに滋賀への誘引の役割を担う情報発信拠点「ここ滋賀」を運営する。あわせて、「ここ滋賀」外への販路拡大に向けた支援や、首都圏での滋賀ファンの拡大などにも取り組む。	189,819	⑤観光入込客の増加
滋賀の観光見える化・データ活用事業	観光客の周遊実態を関係者間で共有(見える化)し、データを活用した戦略的かつ効果的な観光客の受入環境整備や情報発信、周遊観光ルートの検討などを行う。	8,000	④観光満足度の向上
教育旅行誘致事業	本県への教育旅行誘致を積極的に推進するため、首都圏や九州方面への誘致キャラバンの実施や旅行会社教育担当者現地研修会を開催する。	4,050	①宿泊客数の増加

教育旅行誘致事業（ウェルカム滋賀・びわ湖教育旅行キャンペーン事業）	新型コロナウイルス感染症の影響により、教育旅行がキャンセルとなった団体の取戻および新規団体の取込を行い、滋賀の認知度向上と滋賀ファンの拡大を図ることで、将来の滋賀訪問につなげる。	48,000	①宿泊客数の増加
物産販売・販路拡大支援事業	新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けている県内事業者の販売促進・販路拡大につながるよう大手ショッピングモールを活用したウェブ物産展を開催する。	90,000	②観光消費の活性化

戦略⑨ 際立つ体験で外国人観光客を引きつける

事業名	事業概要	予算額 (千円)	主な観光振興効果
国際観光推進事業	インバウンドの回復が早いと想定される東アジアを中心に「旅前」の旅行者に選ばれるように本県の魅力を発信するとともに、「旅中」の旅行者に対しては、本県への誘客案内を実施するほか、受入れ環境の整備を図る。	34,428	③外国人観光客の増加
友好州省経済交流駐在員事業	米国ミシガン州および中国湖南省に経済交流駐在員を配置するとともに、中国湖南省に事務所を設置し、これまで培ってきた強固な関係を活用し、観光誘客および経済交流の推進を図り、相互交流および県内経済の活性化を促進する。	14,303	③外国人観光客の増加

基本戦略3 関連事業総額：511百万円

【主な事業目標】

- ・「ここ滋賀」が滋賀県に及ぼす波及効果：16.96億円
- ・ロケ実現件数：110件
- ・宿泊または体験メニューを組み込んだ教育(修学)旅行者数：6万人
- ・ウェブ物産展の売上額：2億1千万円

(※事業総額は、他の戦略と重複する事業を除く額です)

4 観光関連事業者の支援に関する事業

資金繰りの円滑化、雇用対策、相談窓口の強化等に関する事業

事業名	事業概要	予算額 (千円)	支援項目
中小企業振興資金貸付金	中小企業者等の経営安定等を図るため、制度融資を実施する。	68,406,000	5 資金繰り支援
中小企業振興資金保証料軽減補助事業	中小企業者等の保証料負担を軽減するため、滋賀県信用保証協会に対し補助金を交付する。	470,999	5 資金繰り支援
雇用シェアサポート事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、業務量が減少して従業員の雇用維持が困難になっている事業者と従来から人手不足が続いている事業者の二極化が進んでいる現状を踏まえ、分野を横断した雇用シェア（出向・副業）および移籍を総合的に支援する。	33,900	6 雇用維持支援

離職者早期再就職支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響により解雇や雇止めなどで離職された方等を正規雇用労働者として雇い入れた事業主に対して助成することにより、離職者の早期再就職を支援する。	308,708	6 雇用維持支援
離職者雇用型職業訓練推進事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、解雇や雇止め等の理由により離職した者を一定期間雇用し、研修と派遣制度を活用した企業実習を組み合わせた雇用型職業訓練を実施するとともに、訓練終了後の実習先での正規雇用を支援する。	146,000	6 雇用維持支援
支援制度・相談窓口運営委託事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者等に対する相談体制を強化するため、ワンストップ相談窓口を設置する。	13,142	7 相談窓口

観光需要の回復等に関する事業

事業名	事業概要	予算額 (千円)	支援項目
「今こそ滋賀を旅しよう！」宿泊周遊キャンペーン事業	宿泊施設で周遊クーポンを受け取り、その周遊クーポンによる地域観光関連施設への誘客を促進する宿泊周遊キャンペーンを実施し、宿泊観光・観光周遊を促進する。	408,488	1 観光周遊の促進
教育旅行誘致事業（ウェルカム滋賀・びわ湖教育旅行キャンペーン事業）	新型コロナウイルス感染症の影響により、教育旅行がキャンセルとなった団体の取戻および新規団体の取込を行い、滋賀の認知度向上と滋賀ファンの拡大を図ることで、将来の滋賀訪問につなげる。	48,000	2 団体旅行の取戻
物産販売・販路拡大支援事業	新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けている県内事業者の販売促進・販路拡大につながるよう大手ショッピングモールを活用したウェブ物産展を開催する。	90,000	3 物産販売の支援
安全安心な観光バスツアー補助事業	本県への更なる誘客促進を図るため、観光遊覧船等の観光周遊素材を組み込んだツアープランを造成する旅行事業者を助成することで県内観光関連産業への支援を図る。	273,000	2 団体旅行の取戻
ビワイチレンタサイクル助成事業	スポーツタイプの自転車を利用する場合のレンタサイクル料金に対して補助し、「ビワイチ」や「ビワイチ・プラス」の体験機会の拡大を図り、県内の観光需要の回復に寄与する。	12,833	1 観光周遊の促進
新型コロナウイルス感染症対策経営力強化支援事業	県内中小企業等に対し、今後の事業活動に資する人材確保・育成、働き方改革、新たな販路の開拓、デジタルトランスフォーメーションの推進等、企業の経営力強化につながる取組を支援する。	550,000	4 販路開拓等の支援
新型コロナウイルス感染症対策経営力強化支援事業【緊急枠】	緊急事態宣言の再発令により影響を受けた県内中小企業等を対象として、売上確保のために行う緊急的な取組に必要な経費の支援および国の一時支援金への上乗せを実施する。	1,100,000	4 販路開拓等の支援

(別添1)令和3年度「健康しが」ツーリズムビジョンアクションプラン関連事業

基本戦略1 心を動かす体験 ～「健康しが」ならではの観光素材(モノ・コト)を磨く～

戦略① 健康長寿を支える「食」で誘う(いざなう)

事業名	事業概要	観光振興に寄与する項目	新規	予算額(千円)	財源内訳	担当課
「発酵産業」成長促進化プロジェクト推進事業	プラットフォームの活動を基盤とし、発酵を軸とした新たな商品・サービスの創出を支援するとともに、認知度向上に向けた施策を展開する。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		30,000	国交付金	商工政策課
近江の地酒文化普及事業	近江の地酒の魅力を県内外に発信するとともに、首都圏でのイベント開催や新たなファン獲得の取組等を行うことで、近江の地酒への愛着や誇りを醸成し、誘客促進や関係人口の創出、地域活性化につなげていく。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		4,000	国交付金	観光振興局
「世界農業遺産」プロジェクト推進事業	琵琶湖と共生する「滋賀の農林水産業」について、「世界農業遺産(GIAHS)」の認定に向けた取組を推進し、強い農林水産業づくり、地域活性化の契機とする。この取組のプロセスを通じて、県産物の高付加価値化や観光資源としての活用等につなげ、滋賀の農林水産業を健全な姿で次世代に引き継ぐ。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		8,243	その他	農政課
食べて健康「滋賀の野菜」消費拡大事業	民間事業者や大学等との連携により、「健康」をテーマに県産野菜等の新しい食べ方や魅力を発信することで、日常生活により近い場面で消費者とのコミュニケーションを強化し、県産野菜等の消費拡大を図る。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)	○	5,980	国補助金	食のブランド推進課
環境こだわり農産物流通拡大事業	環境こだわり農産物の有利販売・流通拡大を目指し、「環境こだわり米コンヒカリ」の集荷・流通促進や高付加価値販売のための取組等に対して支援する。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		14,700	国補助金	食のブランド推進課
オーガニック米等販路開拓事業	関係団体と連携し、まとまった需要が見込める首都圏等において、統一デザインの米袋を用いた「オーガニック近江米」等の販路開拓を進める。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		5,400	国補助金	食のブランド推進課
農村女性がつなぎ・かがやく滋賀の「食と農」魅力発信事業	新型コロナウイルス感染症の影響が大きい京阪神など都市部において、食や旅行などに意識の高い女性をターゲットに、オンラインやSNS等を活用して、本県農業の食の分野で活躍する女性から直接、滋賀の農業や農村の魅力を発信する。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)	○	3,800		農業経営課
魚のゆりかご水田米販路開拓事業	魚のゆりかご水田米について、首都圏や京阪神地区の生活協同組合や、流通業者等に対して現地ツアーや説明会によるPR活動を行う。また、関連するPR活動を行う。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		1,600	国交付金	農村振興課
「しがの水産物」流通拡大対策事業	びわサーモン振興協議会による養殖ビワマス「びわサーモン」のイメージアップや流通拡大の活動に対して支援する。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		200		水産課
水産物流通促進対策事業	水産業の振興を図ることを目的として、水産加工業同組合が実施する淡水魚貝類の価格安定・向上、消費拡大および需要喚起のための普及宣伝事業に対し補助する。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		500		水産課
多様で革新的な流通モデル実践事業	今後の高齢化による琵琶湖漁業の構造変化を見据え、漁業組織が経営スキルの強化を目的に、流通事業者と連携して新たな流通モデルの検討・実践を行う取組を支援する。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)	○	10,000	国交付金	水産課
しがの漁業担い手販売スキルアップ事業	意欲ある担い手を対象に飲食店等実需者との連携を創出し、儲かる漁業の意識醸成を図るとともに、マッチングした湖魚食材を使ったフェアを展開し、琵琶湖産魚貝類の魅力発信スキルの向上を図る。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)	○	4,000	国交付金	水産課
びわ湖のめぐみ紹介WEBサイト運用事業	琵琶湖八珍WEBサイトと活用し、担い手の取り組み湖魚PR活動を発信。湖魚取扱店舗情報とともに、「びわ湖のめぐみ」の魅力を県内消費者や観光客に届ける。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		1,500	国交付金	水産課

戦略② 琵琶湖をはじめとした豊かな自然景観や文化財でストーリーを紡ぐ

事業名	事業概要	観光振興に寄与する項目	新規	予算額(千円)	財源内訳	担当課
「滋賀の魅力」観光PR推進事業	万葉・平安から戦国を経て、幕末・近代へ紡いできた多くの滋賀ゆかりの歴史遺産を改めて観光素材として「再発見・再評価」し、密にならない本県の特長とあわせて、その魅力を発信することで、県内周遊・宿泊型観光の推進を図る。	①宿泊客数の増加		83,000	国交付金	観光振興局
日本遺産・琵琶湖魅力発信事業	日本遺産「琵琶湖とその水辺景観―折り」と暮らしの水遺産を中心とする県内の日本遺産を核とした周遊促進事業を実施するとともに、地元が行う受け入れ環境の充実を支援することで地域の活性化を図る。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		4,100	国交付金	観光振興局
「びわ湖の日」活動推進事業	「びわ湖の日」40周年を契機に、森・川・里・湖が織りなす多様な価値や「びわ活」を発信しながら、これまでの取組を振り返り、今を見つめなおし、これからを考え、行動するきっかけづくりを進める。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		14,688	その他	環境政策課

琵琶湖水源の森保全活用事業	長浜市木之本町金居原地区をモデルとして、琵琶湖の水源の森の保全を図るとともに、豊かな自然環境を活かしたエコツーリズムによる利用を促進し、森林生態系サービスの持続可能な利用のモデルづくりを行い、今後のエコツアーを担う人材育成や協働の森づくりへの意識高揚を図るため、森林資源調査、自然・歴史・文化調査による地域資源の掘り起こし、エコツアーの企画、基盤整備（歩道整備等）、地元ガイド育成のための研修会、エコツアーのモデル的実施等を行う。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		4,300	その他	自然環境保全課
おもしろ下物(おろしも)ピオトープ水辺のにぎわい創生事業	下物ピオトープを南湖におけるピオトープ拠点としてヨシやハスの観察、魚つかみ等の自然と触れ合う場として周辺施設と連携しながら利活用し、烏丸半島の活性化を図り、水辺のにぎわいを創出する。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		1,016	その他	琵琶湖保全再生課

戦略③ 暮らし・文化に触れるプログラムやスポーツ・アクティビティで魅せる

事業名	事業概要	観光振興に寄与する項目	新規	予算額(千円)	財源内訳	担当課
ピワイチ観光推進事業	「ピワイチ」、「ピワイチ・プラス」の取組をさらに進め、国内外からの誘客を図るとともに、県内全域への自転車による観光周遊を促進し、地域活性化へつなげる。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		31,108	国交付金	観光振興局
ピワイチレンタサイクル助成事業(支援事業 再掲)	スポーツタイプの自転車を利用する場合のレンタサイクル料金に対して補助し、「ピワイチ」や「ピワイチ・プラス」の体験機会を拡大を図り、県内の観光需要の回復に寄与する。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		12,833	国交付金	観光振興局
コンベンション招致事業	国内外の会議や大会等のコンベンションを本県に招致するため、大学や会議主催者、旅行会社関係者等を対象に、滋賀の魅力进行PRする。	①宿泊客数の増加		3,568		観光振興局
アール・ブリュットの魅力発信事業	アール・ブリュットの魅力を発信するために、映像での展示のためのコンテンツ制作および再開館後の美術館や商業施設等で作品等の映像展示を行う。また、アール・ブリュットに関わる多様な分野の関係者で構成するネットワークの活動等を推進する。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		5,230	国補助金	文化芸術振興課
「近江の城」魅力発信事業	滋賀県が誇る文化財である「城」の魅力を全国に向けて広く発信し、滋賀県への来訪者の拡大を図る。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)	○	8,390	国交付金	文化財保護課
琵琶湖文化館後継施設検討事業	(仮称)新・琵琶湖文化館の整備を推進する。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		1,533		文化財保護課
美術館整備事業	「美の滋賀」の発信にかかる検討業務や近代美術館の再開館に向けた準備等を行う。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		23,508	その他	文化芸術振興課
美の資源活用推進事業	アートや暮らしの中にある美の資源を活用して、地域を元気にする取組を行う民間団体等へ支援を行うとともに、発信力のあるアートプロジェクトへの発展を図るため、ネットワーク化等を促進する。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		6,351		文化芸術振興課
教育・コミュニケーション事業	県内各地で地域の施設や学校、団体等と連携し、子どもをはじめ多くの県民が美術の魅力に出会い楽しむことができるワークショップや講座などを実施する。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		7,470	その他	文化芸術振興課
東京オリンピック・パラリンピック文化プログラム推進事業	東京オリンピック・パラリンピックの開催効果を活かし、滋賀ならではの文化の魅力を世界に向けて発信するため、外国人向け文化情報誌の発行等を実施する。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		504		文化芸術振興課
東京オリンピック・パラリンピックスポーツ交流創出事業	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、関係市と連携しながら、各ホストタウン相手国代表選手団の事前宿泊の受入れをはじめ、スポーツ等を通じた交流事業に取り組む。併せて、各市町の特長を活かしたオリンピック聖火リレー等を着実に実施し、県全体の盛り上げにつなげる。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		248,036	その他	スポーツ課
琵琶湖博物館魅力創造発信事業	博物館のリニューアル効果を高めるため、情報を広く発信するとともに、シンポジウムや県民参加型交流会等の開催による誘客促進の取組を行う。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		24,130	国交付金	環境政策課(琵琶湖博物館)
「山を活かす、山を守る、山に暮らす」都市交流モデル事業	森林山村地域を活性化し、人口減少に伴うさまざまな課題を解決するため、森林山村地域の魅力を発見し、都市住民との交流を通じて森林山村地域への就労や定着を支援する。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		11,308	国交付金	森林政策課
エコツーリズム推進支援事業	エコツーリズムの推進に向けて、市町等とのネットワークを通じた情報共有等を行うとともに、県内のエコツーリズム事業者・団体のデータを見直し、「滋賀にしかないエコツーリズム」のホームページの更新を行う。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		519		琵琶湖保全再生課
みんなで作る「健康しが」事業	県民の健康づくりに係る活動創出を促すため、「健康しが」共創会議を通じた連携の促進や活動助成、専門家等によるサポートなど総合的な支援を行う。また、健康的な生活習慣を身につけるためのきっかけづくりとして、本県の自然等の観光資源と食や運動の体験の要素を組み合わせたツーリズムを提供する。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		19,500	国交付金	健康寿命推進課

障害者アート公募展開催推進事業	障害者の社会参加の促進、造形活動の裾野拡大、障害者理解の促進を図るため、在宅の知的障害者や精神障害者など、従来作品出展の機会が少なかった県内の造形作品を広く公募し、展覧会を開催する。併せて、心を動かす体験に資する文化プログラムとして内外に発信する。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		4,700	国補助金	障害福祉課
障害者造形活動推進事業	障害のある人の造形作品の紹介にとどまらず、一般アーティストの作品とともに並列して見せる企画展の開催など、ボーダレス・アートミュージアムNOMAが行う活動に対し、補助を行う。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		18,000		障害福祉課
都市農村交流対策事業	各地で取り組まれている地域資源を活用した都市農村交流活動(農泊)の受入体制整備および魅力向上を目指した研修や活動内容等に関する情報発信を通じて都市と農村との交流を促進し、地域住民等が主体となった持続可能な農村地域の振興と都市住民の農業・農村に対する理解の向上を図る。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		250	国交付金	農村振興課
農山村ニューツーリズム推進事業	滋賀ならではの魅力を体感できる作業体験等を組み込んだ新たな体験型・滞在型旅行を企画・実施し、都市との交流促進や関係人口の創出・拡大により、農山村地域の活性化を図る。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)	○	3,500		農村振興課
川の魅力まるごと体感事業	川に親しむ機会がない子育て世代の親子を対象に、川釣りの魅力を感じることのできる機会を創出するとともに、釣り教室の開催など遊漁者の増加に向けた取組に対して支援する。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		834		水産課
「滋賀県モノづくり・匠の技展」開催事業	伝統的工芸品等の手仕事の技術の高さ・実用性・美といった価値を広く県民に伝えるため、体験・実演・展示・販売の総合的な取り組みを実施する	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)	○	2,845	国交付金	モノづくり振興課
ワーケーション推進事業(再掲)	コロナ禍を踏まえた新しい観光の一つとしてワーケーションを推進し、観光三方よし(①宿泊事業者の平日を始めとする宿泊率向上、②企業の働き方改革やSDGs等の企業価値向上、③琵琶湖や森林の保護活動等への参加者確保)の実現を目指す。	①宿泊客数の増加		(再掲)		観光振興局

基本戦略2 心に残る交流 ～「おもてなし」で観光・三方よし(訪れてよし、迎えてよし、地域よし)を実現する～

戦略④ 宿泊サービスや朝型・夜型観光で宿泊地としての魅力を高める

事業名	事業概要	観光振興に寄与する項目	新規	予算額(千円)	財源内訳	担当課
ワーケーション推進事業	コロナ禍を踏まえた新しい観光の一つとしてワーケーションを推進し、観光三方よし(①宿泊事業者の平日を始めとする宿泊率向上、②企業の働き方改革やSDGs等の企業価値向上、③琵琶湖や森林の保護活動等への参加者確保)の実現を目指す。	①宿泊客数の増加	○	11,600	国交付金	観光振興局
「今こそ滋賀を旅しよう！」宿泊周遊キャンペーン事業(支援事業 再掲)	宿泊施設で周遊クーポンを受け取り、その周遊クーポンによる地域観光関連施設への誘客を促進する宿泊周遊キャンペーンを実施し、宿泊観光・観光周遊を促進する。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		408,488	国交付金	観光振興局
安全安心な観光バスツアー補助事業(支援事業 再掲)	本県への更なる誘客促進を図るため、観光遊覧船等の観光周遊素材を組み込んだツアープランを造成する旅行事業者を助成することで県内観光関連産業への支援を図る。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		273,000	国交付金	観光振興局
観光イベント推進事業	観光客の積極的な誘致を図るため、観光誘客が見込める地域主催のイベントに対して助成する。	①宿泊客数の増加		30,500		観光振興局
コンベンション招致事業(再掲)	国内外の会議や大会等のコンベンションを本県に招致するため、大学や会議主催者、旅行会社関係者等を対象に、滋賀の魅力をPRする。	①宿泊客数の増加		(再掲)		観光振興局
「滋賀の魅力」観光PR推進事業(再掲)	万葉・平安から戦国を経て、幕末・近代へ紡いできた多くの滋賀ゆかりの歴史遺産を改めて観光素材として「再発見・再評価」し、密にならない本県の特長とあわせて、その魅力を発信することで、県内周遊・宿泊型観光の推進を図る。	①宿泊客数の増加		(再掲)	国交付金	観光振興局
都市農村交流対策事業(再掲)	各地で取り組まれている地域資源を活用した都市農村交流活動(農泊)の受入体制整備および魅力向上を目指した研修や活動内容等に関する情報発信を通じて都市と農村との交流を促進し、地域住民等が主体となった持続可能な農村地域の振興と都市住民の農業・農村に対する理解の向上を図る。	①宿泊客数の増加		(再掲)	国交付金	農村振興課

戦略⑤ 古くから息づくところで「おもてなし」を深める

事業名	事業概要	観光振興に寄与する項目	新規	予算額(千円)	財源内訳	担当課
観光人材育成等地域支援事業	観光まちづくりをPDCAサイクルに基づき、戦略的に事業展開を行い牽引する人材を育成し、観光振興のレベルアップと地域の活性化を目指す。	④観光満足度の向上(交通・滞在環境の整備や受入体制の充実)		10,600	国交付金	観光振興局
地域観光活性化支援事業	県内各地域観光振興協議会等の行う観光活性化およびJR等の駅を利用した2次交通アクセスの利便性の向上のための事業を支援し、誘客を図る。	④観光満足度の向上(交通・滞在環境の整備や受入体制の充実)		13,000		観光振興局

「ウェルカム滋賀」推進事業	観光ボランティアガイドの活動により、来訪者を温かく迎える「おもてなし」の向上を図り、地域の活性化や観光振興につなげる。	④観光満足度の向上(交通・滞在環境の整備や受入体制の充実)		250		観光振興局
近江文化発信・発信事業	滋賀ゆかりの文学作品等を通じて、県民が滋賀の歴史・風土・文化・自然等の魅力を改めて認識し、地域への愛着を深めるとともに、その魅力を発信する取組を行う。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		6,000	国補助金	文化芸術振興課
スポーツボランティア支援事業	東京2020オリンピック聖火リレーやワールドマスターズゲームズ2021関西など大規模スポーツイベントの開催を視野に、スポーツボランティアを自立的に企画・運営する新たな団体の設立を支援するとともに、当該団体が実施するボランティアの募集や育成、活動機会の充実等の取組に対して補助する。	④観光満足度の向上(交通・滞在環境の整備や受入体制の充実)		10,000		スポーツ課
琵琶湖水源の森保全活用事業(再掲)	長浜市木之本町金居原地区をモデルとして、琵琶湖の水源の森の保全を図るとともに、豊かな自然環境を活かしたエコツーリズムによる利用を促進し、森林生態系サービスの持続可能な利用のモデルづくりを行い、今後のエコツアーを担う人材育成や協働の森づくりへの意識高揚を図るため、森林資源調査、自然・歴史・文化調査による地域資源の掘り起こし、エコツアーの企画、基盤整備(歩道整備等)、地元ガイド育成のための研修会、エコツアーのモデル的实施等を行う。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		(再掲)	その他	自然環境保全課
エコツーリズム推進支援事業(再掲)	エコツーリズムの推進に向けて、市町等とのネットワークを通じた情報共有等を行うとともに、県内のエコツーリズム事業者・団体のデータを見直し、「滋賀にしかないエコツーリズム」のホームページの更新を行う。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		(再掲)		琵琶湖保全再生課

戦略⑥ すべての人にやさしい交通・滞在環境で迎える

事業名	事業概要	観光振興に寄与する項目	新規	予算額(千円)	財源内訳	担当課
観光周遊機能構築事業	「まいばら駅広域観光交流圏コンソーシアム」の取組を支援し、米原駅を核とした観光二次交通の整備を促進することで、県東北部の観光周遊機能を強化し、観光誘客を図る。	④観光満足度の向上(交通・滞在環境の整備や受入体制の充実)		7,000	国交付金	観光振興局
県域無料Wi-Fi整備促進事業	国内外から滋賀への訪問者をはじめ、誰でも手軽に観光地などの訪問先でインターネットが利用できる無料Wi-Fi環境の一層の整備促進と利用方法などの利便性向上により、滋賀の「おもてなし」環境の充実を図る。	④観光満足度の向上(交通・滞在環境の整備や受入体制の充実)		5,087		情報政策課
公共交通を活用した観光誘客強化推進事業	明智光秀や石田三成をはじめとする戦国武将や、海外で人気の高い忍者など、滋賀ならではの魅力を有する鉄道旅のコンテンツの磨き上げと海外や関西エリア等の国内向けの発信を強化する。	④観光満足度の向上(交通・滞在環境の整備や受入体制の充実)		12,375	国交付金	交通戦略課
「びわイチ」安全・安心な自転車利用促進事業	「びわイチ」をはじめ自転車を安全・安心に利用できる環境の構築や事故防止に向けた安全指導の強化、総合的に自転車情報を発信する環境の整備を進めるとともに、路面表示、走行空間整備などを進める。	④観光満足度の向上(交通・滞在環境の整備や受入体制の充実)		332,259	国交付金	交通戦略課 道路保全課
「次世代を育む受動喫煙のない社会の実現」事業	改正健康増進法の全面施行により、施設内における受動喫煙対策が強化されるとともに、喫煙者及び灰皿設置施設の管理権原者に対して子どもなど非喫煙者への配慮義務が課された。コロナ禍で滋賀の自然の魅力が再発見され、県民をはじめ県外からの観光客も増える中、全国一喫煙率が低い(男性)滋賀県として、「健康しが」を掲げ県民および、他府県から滋賀を訪れる観光客が、受動喫煙のないきれいな空気のもと、安全に安心して過ごせるよう啓発を行う。	④観光満足度の向上(交通・滞在環境の整備や受入体制の充実)	○	5,842	国補助金	健康寿命推進課
地域観光活性化支援事業(再掲)	県内各地域観光振興協議会等の行う観光活性化およびJR等の駅を利用した2次交通アクセスの利便性の向上のための事業を支援し、誘客を図る。	④観光満足度の向上(交通・滞在環境の整備や受入体制の充実)		(再掲)		観光振興局

基本戦略3 心を掴む発信 ～「行きたい」を想起させるイメージを発信する～

戦略⑦ 見どころをビジュアルで発信し、感性に訴える

事業名	事業概要	観光振興に寄与する項目	新規	予算額(千円)	財源内訳	担当課
滋賀の戦略的県外PR事業	首都圏を中心とする県外や海外の方々に対して滋賀の魅力を広め、認知度や好感度を高めるため、本県の魅力的な素材や旬の話題を取り上げ、メディアへの掲載・露出の拡大につながる情報発信を行う。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		20,292	国交付金	広報課
「ココール」商機拡大支援事業	選定事業者が「ココール」を契機とした「新たなチャレンジ」に取り組むための施策を展開する。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		5,000	国交付金	商工政策課
近江の地域産業振興総合支援事業	本県の優れた地域資源である地場産業等の「稼ぐ力」を高め、地方創生の核となる新たな成長産業として育成するため、施策推進協議会の運営を行うとともに、地場産業および地域特産品の振興のため戦略的な取組を支援する。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		27,550	国交付金	モノづくり振興課
観光物産情報発信事業	県内の観光物産関連情報を(公社)びわこビジターズビューローに集約し、情報の一元化を行い発信している観光物産情報ウェブサイトの管理運用を行うとともに、JR西日本等との共同による観光客誘致促進のためのキャンペーンの展開、県域全体の観光案内・観光相談等の業務を行う。 (※予算額は、教育旅行事業、コンベンション誘致推進事業および地域観光活性化支援事業を除く)	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		32,655		観光振興局

映像誘致・ロケ支援事業	映画・テレビ等の映像を通じて本県の豊かな自然や歴史・文化遺産を広く発信することにより、本県のイメージアップと観光および地域の振興を図る。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		3,646		観光振興局
「滋賀の魅力」観光PR推進事業(再掲)	万葉・平安から戦国を経て、幕末・近代へ紡いできた多くの滋賀ゆかりの歴史遺産を改めて観光素材として「再発見・再評価」し、密にならない本県の特長とあわせて、その魅力を発信することで、県内周遊・宿泊型観光の推進を図る。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)	○	(再掲)	国交付金	観光振興局

戦略⑧ 効果的な場面(とき・ところ)で売り込む

事業名	事業概要	観光振興に寄与する項目	新規	予算額(千円)	財源内訳	担当課
首都圏ネットワーク活用事業	首都圏における積極的な本県の魅力発信や滋賀ゆかりの人や企業等とのネットワークの拡充・強化を図る。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		10,400	国交付金	東京本部
ここ滋賀推進事業	滋賀の魅力を実際に見て、触れて、食べることができる体験型の発信を行うとともに滋賀への誘引の役割を担う情報発信拠点「ここ滋賀」を運営する。あわせて、「ここ滋賀」外への販路拡大に向けた支援や、首都圏での滋賀ファンの拡大などにも取り組む。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		189,819	国交付金	観光振興局
滋賀の観光見える化・データ活用事業	観光客の周遊実態を関係者間で共有(見える化)し、データを活用した戦略的かつ効果的な観光客の受入環境整備や情報発信、周遊観光ルートの検討などを行う。	④観光満足度の向上(交通・滞在環境の整備や受入体制の充実)		8,000	国交付金	観光振興局
教育旅行誘致事業	本県への教育旅行誘致を積極的に推進するため、首都圏や九州方面への誘致キャラバンの実施や旅行会社教育担当者現地研修会を開催する。	①宿泊客数の増加		4,050	国交付金	観光振興局
教育旅行誘致事業(支援事業 再掲)	新型コロナウイルス感染症の影響により、教育旅行がキャンセルとなった団体の取戻および新規団体の取込を行い、滋賀の認知度向上と滋賀ファンの拡大を図ることで、将来の滋賀訪問につなげる。	①宿泊客数の増加		48,000	国交付金	観光振興局
物産販売・販路拡大支援事業(支援事業 再掲)	新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けている県内事業者の販売促進・販路拡大につながるよう大手ショッピングモールを活用したウェブ物産展を開催する。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		90,000	国交付金	観光振興局
つなげる! 応援店「滋賀の食材」県外プロモーション事業	首都圏や京阪神で「滋賀の食材」を取り扱うホテル・飲食店を滋賀食材の「応援店」と位置づけ、県外飲食店と県内生産者との継続的な関係構築(つながり)をめざし、「応援店」を通じた「滋賀の食材」の認知度向上、消費拡大を図る。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		12,730	国補助金	食のブランド推進課
“ブランド近江牛”流通パワーアップ事業	デジタルサイネージ等による「近江牛」の広告掲載を行うことにより、近江牛の流通を拡大し、近江牛販売店等関連企業の活性化につなげる。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		919	その他	畜産課

戦略⑨ 際立つ体験で外国人観光客を引きつける

事業名	事業概要	観光振興に寄与する項目	新規	予算額(千円)	財源内訳	担当課
駐日外交団地方視察受入事業	駐日外交団による滋賀県への地方視察ツアーを実施し、本県の魅力発信および誘客促進に繋がるネットワーク構築を図る。	③外国人観光客の誘客		1,091		国際課
友好州省経済交流駐在員事業	米国ミンガン州および中国湖南省に経済交流駐在員を配置するとともに、中国湖南省に事務所を設置し、これまで培ってきた強固な関係を活用し、観光誘客および経済交流の推進を図り、相互交流および県内経済の活性化を促進する。	③外国人観光客の誘客		14,303		国際課
国際観光推進事業	インバウンドの回復が早いと想定される東アジアを中心に「旅前」の旅行者に選ばれるように本県の魅力を発信するとともに、「旅中」の旅行者に対しては、本県への誘客案内を実施するほか、受入れ環境の整備を図る。	③外国人観光客の誘客		34,428	国交付金	観光振興局
忍者を活用した観光誘客促進事業	関係自治体等で構成する日本忍者協議会の事業に対して補助するとともに、日本固有の文化資産である忍者コンテンツを発信し、国内外からの観光誘客を促進する。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		500		観光振興局
世界に広げる「滋賀の食材」海外プロモーション事業	県産農畜水産物の海外展開を促進するため、JETRO等と連携して、海外展示商談会への滋賀県ブース出展等を実施するとともに、アジア等の有望地域へのプロモーションを効果的に実施する。	③外国人観光客の誘客		7,695	国補助金	食のブランド推進課
県域無料Wi-Fi整備促進事業(再掲)	国内外から滋賀への訪問者をはじめ、誰でも手軽に観光地などの訪問先でインターネットが利用できる無料Wi-Fi環境の一層の整備促進と利用方法などの利便性向上により、滋賀の「おもてなし」環境の充実を図る。	④観光満足度の向上(交通・滞在環境の整備や受入体制の充実)		(再掲)		情報政策課
東京オリンピック・パラリンピック文化プログラム推進事業(再掲)	東京オリンピック・パラリンピックの開催効果を活かし、滋賀ならではの文化の魅力を世界に向けて発信するため、外国人向け文化情報誌の発行等を実施する。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		(再掲)		文化芸術振興課

(別添2) 令和3年度 観光関連事業者の支援に関する事業

事業名	事業概要	支援項目	新規	予算額 (千円)	財源内訳	担当課
中小企業振興資金貸付金	中小企業者等の経営安定等を図るため、制度融資を実施する。	5資金繰り支援		68,406,000	その他	中小企業支援課
中小企業振興資金保証料軽減補助事業	中小企業者等の保証料負担を軽減するため、滋賀県信用保証協会に対し補助金を交付する。	5資金繰り支援		470,999	国交付金	中小企業支援課
支援制度・相談窓口運営委託事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者等に対する相談体制を強化するため、ワンストップ相談窓口を設置する。	7相談窓口		13,142	国交付金	中小企業支援課
雇用シェアサポート事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、業務量が減少して従業員の雇用維持が困難になっている事業者と従来から人手不足が続いている事業者の二極化が進んでいる現状を踏まえ、分野を横断した雇用シェア(出向・副業)および移籍を総合的に支援する。	6雇用維持支援	○	33,900	国交付金	労働雇用政策課
離職者早期再就職支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響により解雇や雇止めなどで離職された方を正規雇用労働者として雇い入れた事業主に対して助成することにより、離職者の早期再就職を支援する。	6雇用維持支援		308,708	国交付金	労働雇用政策課
離職者雇用型職業訓練推進事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、解雇や雇止め等の理由により離職した者を一定期間雇用し、研修と派遣制度を活用した企業実習を組み合わせた雇用型職業訓練を実施するとともに、訓練終了後の実習先での正規雇用を支援する。	6雇用維持支援	○	146,000	国交付金	労働雇用政策課
「今こそ滋賀を旅しよう！」宿泊周遊キャンペーン事業	宿泊施設で周遊クーポンを受け取り、その周遊クーポンによる地域観光関連施設への誘客を促進する宿泊周遊キャンペーンを実施し、宿泊観光・観光周遊を促進する。	1観光周遊の促進		408,488	国交付金	観光振興局
教育旅行誘致事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、教育旅行がキャンセルとなった団体の取戻および新規団体の取込を行い、滋賀の認知度向上と滋賀ファンの拡大を図ることで、将来の滋賀訪問につなげる。	2団体旅行の取戻		48,000	国交付金	観光振興局
物産販売・販路拡大支援事業	新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けている県内事業者の販売促進・販路拡大につながるよう大手ショッピングモールを活用したウェブ物産展を開催する。	3物産販売の支援		90,000	国交付金	観光振興局
安全安心な観光バスツアー補助事業	本県への更なる誘客促進を図るため、観光遊覧船等の観光周遊素材を組み込んだツアープランを造成する旅行事業者を助成することで県内観光関連産業への支援を図る。	2団体旅行の取戻		273,000	国交付金	観光振興局
ピワイテレンタサイクル助成事業	スポーツタイプの自転車を利用する場合のレンタサイクル料金に対して補助し、「ピワイテ」や「ピワイテ・プラス」の体験機会の拡大を図り、県内の観光需要の回復に寄与する。	1観光周遊の促進		12,833	国交付金	観光振興局
新型コロナウイルス感染症対策経営力強化支援事業	県内中小企業等に対し、今後の事業活動に資する人材確保・育成、働き方改革、新たな販路の開拓、デジタルトランスフォーメーションの推進等、企業の経営力強化につながる取組を支援する。	4販路開拓等の支援		550,000	国交付金	商工政策課
新型コロナウイルス感染症対策経営力強化支援事業【緊急枠】	緊急事態宣言の再発令により影響を受けた県内中小企業等を対象として、売上確保のために行う緊急的な取組に必要な経費の支援および国の一時支援金への上乘せを実施する。	4販路開拓等の支援	○	1,100,000	国交付金	商工政策課